

「水先人を目指す人のために」

1. 水先人とは

「水先人」と聞いても、おそらくほとんどの方にとって初耳か、馴染みのない言葉ではないでしょうか。ここでは、水先人とはどのような職業なのかを紹介します。

1-1. 海の専門家

我が国は資源のほとんどを輸入に頼っており、その大部分が船による海上輸送によって日本へもたらされています。同時に、国内で作られた様々な機械製品、石油製品などもまた、海上輸送によって諸外国へと運ばれて行きます。現代の私達の生活にとって、船舶による海上輸送は無くてはならないものであり、毎日多くの船舶が日本各地の港に出入りして、その重要な役割を担っています。

船の世界には、世界共通の一般的交通ルールがあります。しかしながら、日本の港湾は場所によって地形や気象・海象が多種多様で複雑なため、それらの事情に応じたその港湾特有の航路や交通ルールが多く定められています。日本にやってくる外国船舶の船長にとって、それら特別な事情や規則を全て把握することは非常に困難です。そこで、**その地域に精通した専門家として、船舶に赴き、安全かつ効率的な運航のために船長を助けること、それが「水先人」の仕事です。**

1-2. 資格と組織

水先人は「水先法」という法律によって定められた国家資格であり、その数は日本全国で約700人^{*1}です。水先人が仕事をしている「水先区」も法律によって定められており、全国に35

「水先人を目指す人のために」

の水先区が存在しています。

水先人は日本中全ての水先区で仕事を行うわけではありません。水先免許は各水先区ごとに分かれており、各水先人は自分の有する免許に応じ、その水先区域の専門家として働いています。

(注*1：2015年現在の数。比較として、日本の医師の数は約30万人、弁護士は約3万人、プロ野球選手で約900人。)

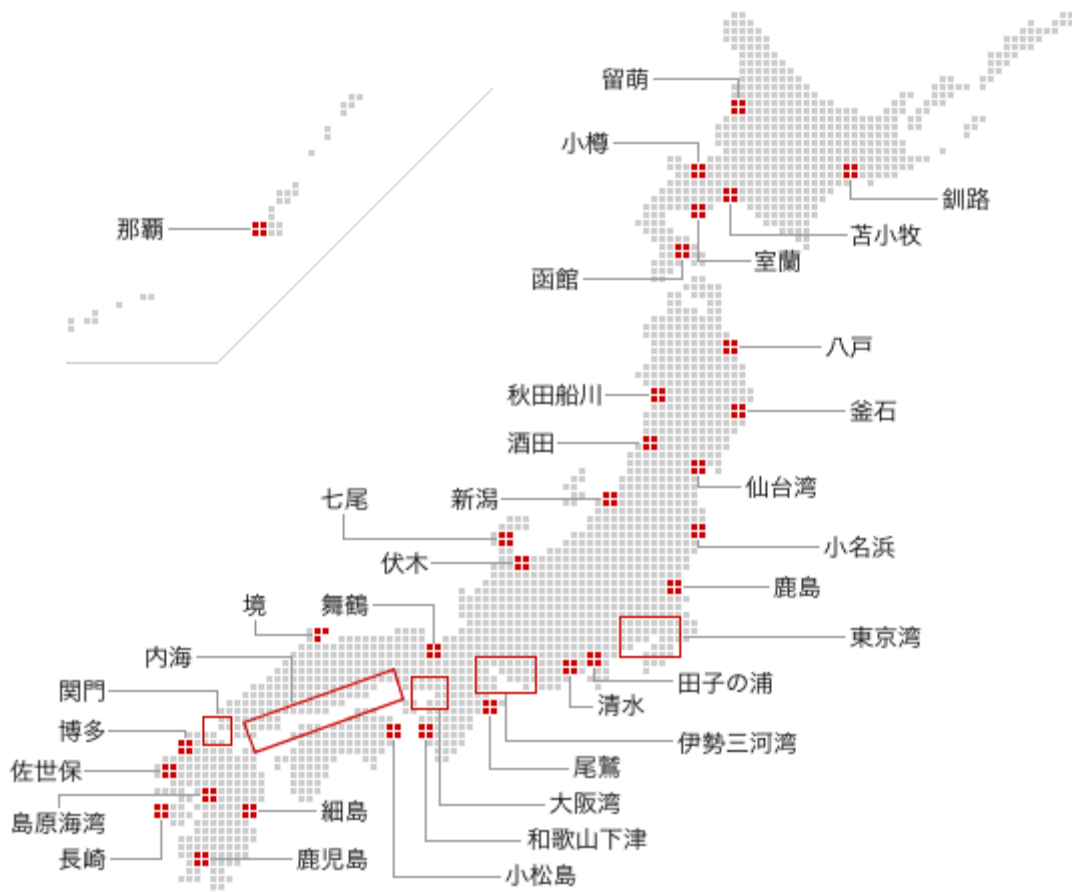


図 1.1 全国の水先区

(日本水先人会連合会ホームページより)

各水先区には「水先人会」という組織が置かれており、水先人は自分の免許に応じた区域

「水先人を目指す人のために」

の水先人会に所属しています。私達「伊勢三河湾水先区水先人会」もその一つで、その名の通り、「伊勢三河湾」という水先区の「水先人会」です。

当会には現在 100 名強の水先人が所属しており、年間 1 万数千隻の船舶に対して水先業務サービスを提供することで、安全な海上輸送の一端を担い地域経済に貢献しています。

さらに詳しく知りたい方はこちら

・[日本水先人会連合会「水先人（パイロット）の紹介」](#)

<http://www.pilot.or.jp/pilot/index.html>

水先人の仕事や、やりがい、水先人になるための方法など様々な情報が掲載されています。

また同ページ内の動画では、水先人の概要が解りやすく紹介されています。

・[国土交通省海事局「水先人 PILOT」](#)

<http://www.mlit.go.jp/maritime/shikaku/mizusaki2/>

水先人の一日を具体例として紹介したり、水先人へのインタビューなどが掲載されています。